

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち



February

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

February 2026 vol.142

◆ 豊川用水（豊川用水殉職者慰霊碑）

所在地：豊橋市雲谷町

交通：JR 東海道本線「二川」駅 東約 4km

豊川用水は、新城市の宇連ダム、大島ダムでためた水を、宇連川から大野頭首工で取水し、約 112km の幹線水路を通じて、東三河地域一帯に供給する用水施設です。大野頭首工で取水された水は、新城市日吉の東西分水工で、豊橋市を経て渥美半島に至る約 76km の東部幹線水路と、豊橋市を経て蒲郡市に至る約 36km の西部幹線水路に分かれ、東三河地域と静岡県湖西市の一部を潤しています。豊川の水だけでなく、天竜川水系の大入川、振草川からも導水しており、5月から9月の期間に宇連ダムの貯水量が少なくなった時には、静岡県の佐久間ダムから取り入れることもできます。また、取水量の多い寒狭川の上流には、現在、設楽ダムが建設されています。

用水利用の約 70%（1 億 8,000 万 t）は農業用で、東三河 5 市と湖西市の約 18,000ha の田畑や温室で利用されています。東三河地域の農業は、以前はさつまいもや麦などの水を使わない作物が主流でしたが、用水の完成により生産性が向上し、豊橋市から渥美半島にかけてのキャベツやブロッコリー、大葉などの露地栽培、渥美半島を中心としたメロンやトマト、電照菊などの花き類の温室栽培、蒲郡市のみかんなど、全国でも有数の農業地域となっています。農業用水以外にも、東三河 5 市の水道用水（約 24%、6,000 万 t）として 76 万人に供給されているほか、豊橋臨海、田原、二川地区、蒲郡、御津地区、湖西地区などの工場で工業用水（約 6%、1,500 万 t）としても利用されています。

豊川用水は、県議員や衆議院議員、豊橋市長を務めた田原市の政治家・近藤寿市郎の構想がその始まりです。ジャワ島でオランダの水利施設を見学した近藤は、帰国後、奥三河の鳳来町に水源となるため池を作り、水路を引いて東三河地域に水を導くことを考えました。構想はすぐには受け入れられませんでした。戦後の食糧増産の流れも受けて昭和 22(1947) 年に調査が開始され、昭和 24 年に宇連ダムの建設が始まりました。途中、昭和 31 年に始まった愛知用水事業（昭和 35 年完成）に先を越されますが、その後は愛知用水の建設に携わった人材や技術が投入されて工事は急ピッチに進み、昭和 38 年には東部幹線地域の一部で通水が始まり、昭和 43 年に全面通水となりました。

豊川用水は、幹線水路の 80 か所にサイホンが設けられています。サイホンは、用水路が河川や道路を横断する際に、一度地中深くを通過して反対側に水を運ぶ施設で、施工が非常に難しく、中でも、国道 1 号線や東海道新幹線の下をくぐりぬける二川サイホンは、長さ約 2.8km、管径 3m にも及ぶ規模の大きなもので、一番の難工事とされました。

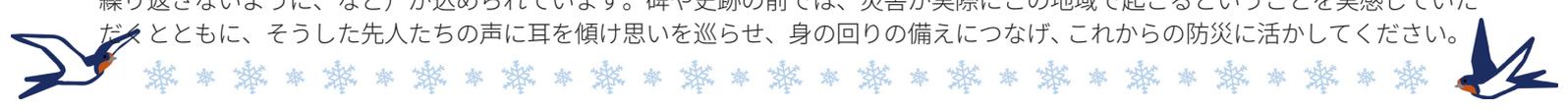
二川サイホンの入口・二川チェック横には、豊川用水の工事で殉職された 16 名の名前が刻まれた慰霊碑が建立されています。碑は、豊川用水事業を組み込んだ愛知用水公団により昭和 43 年に建立されたもので、公団の事業を引き継いだ水資源機構により、毎年慰霊式が開催されています。



豊川用水殉職者慰霊碑
(提供：水資源機構豊川用水総合管理所)



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



◆見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち バックナンバーから

●愛知用水(牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑)(vol.105,2023.1)

所在地：長野県木曾郡木曾町三岳

交通：木曾町生活交通システム三岳王滝線

「二子持」停 南西約 1.2km

知多半島は丘陵性の地形であるため、大きな河川が流れ込まず、昔から水の確保に苦労してきました。ことわざ「知多の豊年米食わず」は、知多半島が豊作となる水の豊富な年は、他の地域では水害がもたらされ不作になる、そんな様子を表現したもので、それほど水の得にくい地域でした。

愛知用水は、知多半島に安定して水を供給するために整備された用水で、幹線水路 112km、支線の総延長は 1,012km に及びます。水源は長野県木曾郡王滝村と木曾町にまたがる牧尾ダムで、岐阜県可児市と八百津町にまたがる兼山ダム湖に設置した愛知用水取水口から、愛知池、佐布里池、美浜調整池を経て、日間賀島や佐久島まで水を送ります。

◆詳細は、見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち vol.105 (<https://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/rekishijishin/geppo.html>) をご覧ください。

農業用水としての機能に加え、水道用水、工業用水の機能も持ち、愛知県を支える重要なインフラとなっています。

愛知用水の建設にあたっては、困難な工事を進める中、56 名の方が殉職されています。建設に向けた動きの中心となった人物のひとりである久野庄太郎は、知多の陶芸家・柴山清風に依頼し、ダムの土を使い 500 体もの観音像を制作し、犠牲者が出るたびに弔いに出かけたとのこと。

愛知用水建設にまつわる記念碑や慰霊碑は各地にありますが、そのひとつが、牧尾ダム管理所構内の牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑です。ダムが完成した昭和 36 年 5 月に建立されたこの慰霊碑には 21 名の殉職者の氏名が刻まれており、毎年 7 月には、慰霊碑前で殉職者慰霊祭が行われています。



提供：水資源機構
愛知用水総合管理所

★^{ゆや}湯谷温泉花まつり

花祭りは、毎年 11 月から 1 月にかけて、奥三河の設楽町・東栄町・豊根村で地区ごとに開催される、五穀豊穰、無病息災などを祈念する神事で、鎌倉時代から伝わり、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。見どころは「鬼の舞」で、鬼とともに町の人や観光客が 40 種類もの舞を夜を徹して行います。その後の「湯ばやし」では、舞子が釜の湯を振りかけまわり、湯を浴びると一年間健康で過ごせるという言い伝えがあります。



Aichi Now HP より

新城市の湯谷温泉では、2 月の毎週土曜日夜に、湯谷温泉花まつりが開催されます。湯谷温泉花まつりでは、花祭りをダイジェスト版として見る事ができるほか、郷土芸能「長篠陣太鼓」の火打ちの披露、甘酒の振る舞いなどが行われます。

～自動車で巡る～

鳳来峡 IC は、宇連ダム、大島ダムの直近に位置する三遠南信自動車道の IC です。



photo AC より

三遠南信自動車道は、長野県の中央自動車道・飯田山本 IC から、静岡県の新東名高速道路・浜松いなさ IC までを結ぶ計画の約 100km の高規格幹線道路です。浜松いなさ IC 側からは鳳来峡 IC までが供用されており、次の東栄 IC までが 2026 年 3 月 14 日に開通する予定となっています。

●ブレイクタイム●

♪湯谷温泉

湯谷温泉は、宇連川の上・下流約 5km にわたる鳳来峡の渓谷・板敷川沿いの静かな温泉郷で、奈良時代に鳳来寺を開山した利修仙人により発見されたと伝えられ、1300 年以上の歴史があります。泉質は塩化物泉で、神経痛・筋肉痛・疲労回復などに効果が期待できる療養泉とされています。

宿泊はもちろん、日帰りでも温泉が楽しめる旅館・ホテルが建ち並ぶほか、無料で利用できる足湯もあります。露天風呂から四季折々の風景を眺めれば、都会の喧騒を忘れ癒しの時間へ誘われます。



Aichi Now HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆この地域の歴史災害記録をオンラインツアー形式、マップ形式で紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『災と Seeing』のホームページ (<https://www.saitoseeing2020.jp/>) をぜひご覧ください。

(発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 2026 年 2 月)